

## バリアフリー改修住宅申告書

平成 ○ 年 □ 月 △ 日

富田林市長様

申告者（納税義務者）

住所 富田林市常盤町1番1号

(フリガナ)

名前 富田林 太郎 (印)(電話番号 0721-25-1000)

富田林市税条例附則第7条の2第8項の規定により下記のとおり申告します。

家屋の明細	所在地	富田林市 <b>常盤町44番地</b>		
	所有者	<b>富田林 太郎</b>	家屋番号	<b>44</b>
	種類	<b>居宅</b>	構造	<b>木造</b>
	床面積	100 m <sup>2</sup> (左のうち人の居住用部分の床面積) 100 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	<b>昭和56年○月×日</b>	登記年月日	<b>昭和56年△月□日</b>
居住者	居住者の要件該当事項（該当するものに○印を付けてください。） ①65歳以上の人 ②介護保険の要介護認定または要支援認定を受けている人 ③障害のある人 上記に該当する人の 住所 <u>富田林市常盤町1番1号</u> 氏名 <u>富田林 太郎</u>			
改修内容	改修完了年月日	平成 <b>22</b> 年 <b>4</b> 月 <b>10</b> 日（平成19年4月1日以降に完了したものが対象です。）		
	改修工事の内容（該当するものに○印を付けてください。）	①廊下・出入り口の拡幅 ②階段の勾配の緩和 ③浴室の改良 ④トイレの改良 ⑤手すりの取り付け ⑥床の段差の解消 ⑦引き戸への取替え ⑧床表面の滑り止め化		
	改修工事に要した費用	a	<b>500000</b> 円	
	補助金等（当該改修工事の費用に充てるために交付される補助金等）、 居宅介護住宅改修費、介護予防住宅改修費	b	<b>100000</b> 円	
差引き自己負担額 (30万円以上が減額の対象となります。)	a - b	<b>400000</b> 円		
改修が完了した日から3か月を経過した後に申告書を提出する場合には、3か月以内に提出できなかった理由 ①減額制度を知ったのが遅かったため ②その他（ ）	備考（受付印）			

※添付書類等詳しくは裏面をご覧ください。

※この申告書は、地方税法附則第15条の9第4項及び第5項の規定の適用を受けようとする人から、同法同条第6項の規定により改修工事が完了した日から3か月以内に提出いただくものです。

